えんだより

- 発　行　元　：ひいらぎこども園
- 発　行　日　：令和5年8月1日
- 園　　長　：中田　純子
- 連　絡　先　：0774-44-0652
- 緊急連絡先　：090-1159-0652

今月の予定

1	火	
2	水	夏祭り(０歳児・年長)
3	木	夏祭り（１歳児・年中）
4	金	夏祭り（２歳児・年少・どれみひいらぎ）
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	１学期終業式
11	金	山の日
12	土	
13	日	
14	月	夏休み
15	火	夏休み
16	水	夏休み
17	木	２学期始業式
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	誕生会（年少・年中）
23	水	誕生会（年長）
24	木	誕生会（1歳児・2歳児）
25	金	避難訓練
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

０～２歳児クラスの方は、連絡帳の水遊びの欄を忘れずに記入していただきますようお願いします。

14日・15日・16日を夏休みとさせていただきます。ご協力のほど、よろしくお願いします。

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、予定が変更になることがあります。ご了承ください。

わくわくひろばに クマゼミの大群が！

これ、何だかわかりますか？全部、クマゼミなんです。わくわくひろばのトネリコの木に30～40匹とまっていました。わくわくひろばは、できてまだ４年しか経っていないので、ここで生まれたセミではありません。今ここで蜜を吸っているクマゼミが、木に卵を産んで、生まれた幼虫が土の中に入ってから５年後に、やっと「わくわくひろば生まれのセミ」が出て来てくれます。子どもたちと一緒に、土から出て木に登り、羽化する場面を見てみたいと思います。虫好きの子どもたちは、玄関の「生き物コーナー」で、毎日、餌やりや虫との触れ合いを楽しんでいます。その活動の中では、誕生や別れの場面にも出会います。生き物と触れ合い、感動する体験は、生命を大切にする気持ちを育むと同時に科学的な見方や考え方を培う基礎となります。

自然に触れ合える豊かな環境づくりに、これからも努力していきたいと思います。

クラス		今月のめあて
0歳児	たんぽぽ	清潔にしてもらうことでさっぱりした心地よさを感じ、健康に過ごす。
		特定の保育者のそばで安心して過ごす。
		泡や水等様々なものに触れ、全身で感触を楽しむ。
1歳児	れんげ	身の回りのことを、自分なりにやってみようとする。
		身近な人に関心を持ち、まねたり、見立て遊びを楽しんだりする。
		水遊びやプール遊びのおもしろさや気持ちよさを味わう。
2歳児	すみれ	食事や着替えなど生活の仕方がわかり、少しずつ自分でしようとする。
		夏ならではの遊びをじっくり楽しみ、開放感や満足感を味わう。
		友達との関わりの中で、相手の思いを感じたり、気付いたりする。
3歳児	あか むらさき き	夏ならではの遊びや行事を楽しむ。
		したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、わからないことを尋ねたりする。
		異年齢児や担任以外の保育者との触れ合いを楽しむ。
4歳児	ピンク オレンジ	暑い時期を心地よく安全に過ごすための約束を知り、進んで取り組む。
		夏の自然や生き物に興味・関心を持ち、自分たちなりに調べることを楽しむ。
		夏ならではの遊びを、友達と一緒に楽しむ。
5歳児	あお みどり	夏を実感し、体調に注意しながら健康的に過ごそうとする。
		遊びや生活の中で、友達との関係を深め、充実感を味わう。
		栽培した夏野菜を収穫し、調理したり、味わったりして楽しむ。

「記憶は残らないが、希望が残る」

６月に全国私立保育研究大会に参加してきました。これは基調講演での汐見稔幸先生（日本保育学会前会長）の言葉です。

赤ちゃんは、言葉を話せないため、記憶は残りません。でも、泣いたらそばに来てだっこしてくれる。おなかが空いたら、ミルクをくれる。自分を見て微笑んだり、優しく撫でたりゆすったりしてくれる。赤ちゃんはこれらのことを通して「私って、大切な存在なんだ」「大人は、信頼できる人たちなんだ」「生まれてきてよかった」という思いを持ち、それは希望となって残るそうです。その希望が、人間力の基礎となり、学びの基礎となります。

脳科学においても、笑顔や優しく触れる肌の温もりと共に、注がれた言葉が子どもの中に定着することが実証されています。

大切な乳幼児期、たっぷりの笑顔と優しく温かい触れ合いで、子どもたちの脳を活性化させ、自ら未来を拓いていく力の基となる「希望」を残してあげたいですね。

９時15分までの登園にご協力ください

水遊び（プール）を安全に実施する為には十分な準備時間が必要です。登園が遅れるとスタートが遅れ、楽しみにしている時間まで短くなってしまいます。